

令和七年度 賀詞交歓会句会

特選句（順不同・敬称略）

南 うみを先生 特選
餅搗の二臼目より揃ふ息
もうひとつ石足して呼ぶ茎の水

伊藤 久子
古川 和子

坂口緑志先生 特選
雲低き神馬の墓や冬すみれ

森下 充子

西田 誠先生 特選
もうひとつ石足して呼ぶ茎の水

古川 和子

橋本石火先生 特選
餅搗の二臼目より揃ふ息

伊藤 久子

佐藤 茂先生 特選
日当たれば光放てり草の霜

岩倉 佳子

芦田昌男先生 特選
手ばなすと決めたる畑や葱太る

古川 和子

武田巨子先生 特選
射る前に射貫く氣配や弓始

松本 愛子

樋口精一先生 特選
射る前に射貫く氣配や弓始

松本 愛子

坂本剛子先生 特選
日当たれば光放てり草の霜

岩倉 佳子

高点句

十六点句

手ばなすと決めたる畠や葱太る

古川 和子

十点句

去年の息吐きて今年の息を吸ふ
伊勢湾の水引き上げて初日出づ

米野てるみ
佐野萬里子

七点句

凧揚がる風の広さよ伊勢平野

三ツ矢龍美

六点句

餅搗の一臼目より揃ふ息
射る前に射貫く氣配や弓始

伊藤 久子
松本 愛子

五点句

御神符に赤福を添へ寒見舞
一行に足る新年の心意氣
荒縄の注連にほひたつお鉤引
寒紅を引きて覚悟のやうなもの
英虞湾の水を均して石尊畠

芦田 昌男
西田 誠
岡島 千秋
平田 冬か
西尾 敬一

※高点句賞は一人一賞のため二句目は辞退して
いただきました。